

第203回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計66点〕

問1

売上

第1年度 [① 9,600,000] 円 第2年度 [① 8,400,000] 円
 第3年度 [① 7,200,000] 円 第4年度 [① 6,000,000] 円

利益

第1年度 [② 1,300,000] 円 第2年度 [② 700,000] 円
 第3年度 [② 100,000] 円 第4年度 [② 500,000] 円

問2

第1年度期末 [③ 3,410,000] 円 第2年度期末 [③ 2,990,000] 円
 第3年度期末 [③ 2,570,000] 円 第4年度期末 [③ 2,850,000] 円

問3

[⑤ 10,292,730] 円

問4

第1年度 [② 3,640,000] 円 第2年度 [② 910,000] 円
 第3年度 [② 180,000] 円 第4年度 [② 1,450,000] 円

問5

第1年度期末 [③ 4,048,000] 円 第2年度期末 [③ 4,137,000] 円
 第3年度期末 [③ 3,626,000] 円 第4年度期末 [③ 4,515,000] 円

問6

[⑤ 12,120,914] 円

問7

選択すべき案（いずれかを○で囲むこと）

- ①旧機械を利用し続ける案
- ②旧機械を売却し新機械を購入する案 ①

理由：①旧機械を利用し続ける案に比べて、②旧機械を売却し新機械を購入する案の方が、正味現在価値が1,828,184円大きく、有利な案といえるため。⑤

問8

選択すべき案（いずれかを○で囲むこと）

- ①旧機械を利用し続ける案 ①
- ②旧機械を売却し新機械を購入する案

理由：②旧機械を売却し新機械を購入する案に比べて、①旧機械を利用し続ける案の方が、正味現在価値が1,040,216円大きく、有利な案といえるため。⑤

問題2 [予想配点：丸数字は点数を示す、合計19点]

問1

意味：内部収益率とは、複利計算を前提とした利益率のことであり、正味現在価値がゼロになる割引率として計算されるものである。⑤

問2

内部収益率 [⑤ 6.33] % ※投資案の採否の結果まで含めて正解

この投資案を行うべきである ・ この投資案を行うべきでない (いずれかを○で囲むこと)

問3

場合：複数の排他的投資案の割引率と正味現在価値の関係を示すグラフ（正味現在価値線）において、正味現在価値の優劣関係が逆転する地点よりも左側のゾーンに企業の資本コスト率が存在し、これを割引率として用いる場合に正味現在価値の低い投資案を選択してしまうという問題が生じる。⑧

問題3 [予想配点：丸数字は点数を示す、合計15点]

- | | |
|------------|------------|
| 1 (③ 源流) | 2 (③ 許容) |
| 3 (③ 成行) | 4 (③ 控除) |
| 5 (③ 積上) | |